

職業性ストレス簡易評価

	あなたの仕事についていかがですか。 最も当てはまるものを選んでください。	そうだ	まあそうだ	ややちがう	ちがう
1	非常にたくさんのごとをしなければならない	1	2	3	4
2	時間内に仕事処理しきれない	1	2	3	4
3	一生懸命働かなければならない	1	2	3	4
4	かなり注意を集中する必要がある	1	2	3	4
5	高度の知識や技術が必要なむずかしい仕事だ	1	2	3	4
6	勤務時間中はいつも仕事の事を考えていなければならない	1	2	3	4
7	からだを大変よく使う仕事だ	1	2	3	4
8	自分のペースで仕事ができる	1	2	3	4
9	自分で仕事の順番・やりかたを決める事ができる	1	2	3	4
10	職場の仕事の方針に自分の意見を反映できる	1	2	3	4
11	自分の技能や知識を仕事で使うことが少ない	1	2	3	4
12	私の部署内で意見のくい違いがある	1	2	3	4
13	私の部署と他の部署とはうまく合わない	1	2	3	4
14	私の職場の雰囲気は友好的である	1	2	3	4
15	私の職場の作業環境(騒音 照明 温度 換気など)はよくない	1	2	3	4
16	仕事の内容は自分にあっている	1	2	3	4
17	働きがいのある仕事だ	1	2	3	4

2月からメンタルアンケートをスタートしました。具体的には上記(一部例)のような全部で46項目からなる質問を基にメンタルチェックを行い、ストレスの洗い出しを行なっています。その上で個人面談を実施中です。結果的に部署ごとの傾向もみられています。今後はその要因となるストレスの除去に役立てられる状況を作りたいと思います。

★今月のコラム★

【わくわく感の喪失】

以前読んだ本の一節に『最近の職場にわくわく感がなくなっている。仕事のやりがい、職場のチームの高揚感、自らのキャリアの達成感、そして何よりも自らの会社・仕事への誇りをすっかり喪失し、自信を失っているように見える。とりわけ、上場企業を中心とした大企業では、下を向いている社員が多いようだ』といった内容。ちょうど企業の不祥事が取り沙汰され、CSR(企業の社会的責任)が盛んに叫ばれた時期の本である。

それから数年が経ち振り返ってみると、生き残りをかけた企業の淘汰が進み、外国資本の参入や積極的なM&Aの展開など、一流企業・老舗というブランドの崩壊が進んだ時代だとも検証できる。

しかしながら、それでもしっかりと地に足をつけ、色々な荒波に揉まれながらも生き残っている企業も数多くある。何が違うのか・・・

幸いな事に、紘徳会には『みどりの園フィロソフィ手帳』がある。紘徳会の設立の想いから理念、Mission等、あらゆる指針が凝縮されている。特に新人スタッフ研修の講義の中ではしっかりと落とし込みがされ、全ての講義の中でのベースになっている。欲目かもしれないが、当然のこととして既存スタッフは日々の行動の中で学び実践している。

我々スタッフが、『仕事のやりがい、職場のチームの高揚感、自らのキャリアの達成感、そして何よりも自らの会社・仕事への誇りをすっかり喪失し、自信を失って方向性を見失ったとき』じっくり読み返して『わくわく感』を取り戻してほしい。おのずと100年200年と続くブランド企業として生き残れるはずである。

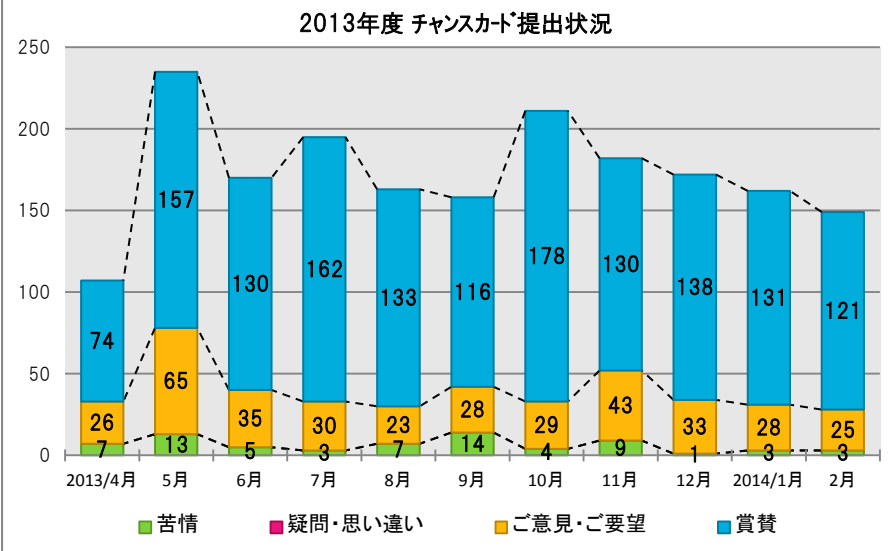
by okubo

2013年度チャンスカード提出状況

	2013/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014/1月	2月	計
苦情	7	13	5	3	7	14	4	9	1	3	3	69
疑問・思い違い	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ご意見・ご要望	26	65	35	30	23	28	29	43	33	28	25	365
賞賛	74	157	130	162	133	116	178	130	138	131	121	1470
合計	107	235	170	195	163	158	211	182	172	162	149	1904

苦情の具体的内容

ご意見内容	2013/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014/1月	2月	合計
職員の態度・あいさつ・マナー	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
連絡・伝達・説明不足に関して	2	1	0	1	1	5	1	2	1	0	0	14
食事に関すること	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
サービス提供の遅延、配慮不足	2	3	1	0	3	2	1	1	0	2	1	16
不十分なサービス	3	3	4	2	3	5	2	4	0	1	2	29
思い違い・疑問	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
イベントに関して	0	6	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
合計	7	13	5	3	7	14	4	9	1	3	3	69



2013年2月度は苦情3件、ご意見・ご要望25件、賞賛121件、合計149件のチャンスカードを受け付けました。

苦情については、ピッコロへ保護所の方より2件、デイサービスへ1件頂いています。ピッコロへのご意見の中には、前月と同様の内容について、ご意見を頂いております。ルールの徹底とダブルチェック体制の強化で、再発のないように努めて頂きたいと思っております。デイサービスへのご意見の内容としては、「ご利用者様のカバンの中に、使用済みのオムツがはいていた。」とご家族様よりお電話を頂いております。排泄介助が必要な利用者様について、把握をすると共に、必ず担当者がチェックする体制を徹底して頂きたいと思っております。

また、賞賛については、「生き生きサロンがとても楽しかった。いつも一人で家にいるのでたまには人と交流することはいい。先々はみどりの園にご厄介になろうと思っているので宜しく。」といった、みどり元氣村で行っている生き生きサロン等の活動に対して多くの賞賛を頂いております。

2013年度サービス改善内容

	2013/4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014/1月	2月	合計
MSMで定められた手順の不順守	5	6	8	2	6	12	10	7	13	6	6	81
施設や部署で取決められたルールの違反	0	4	5	4	9	3	7	1	0	1	3	37
その他	4	7	3	5	5	2	3	6	6	5	6	52
その他	3	3	3	4	2	3	1	4	6	7	3	39
総件数	12	20	19	15	22	20	21	18	25	19	18	209

2月のサービス改善報告書は、全体で18件の提出がありました。
“事故”に分類されるものとしては、転倒・転落が3件、表皮剥離・切創が3件で、利用者様に関する事故は2月は減少傾向でした。しかし、3月は転倒・転落が5件発生しており、特に施設サービス部と通所リハビリで増加傾向にあります。
年度のはじめは、新入職者が入ったり、スタッフの異動もありますので、予防処置の周知徹底・情報の共有をしっかりと行い、転倒予防に努めて頂きたいと思っております。

